

ライフコースアプローチ

乳幼児期（出生～6歳）



行動目標

- ① 栄養・食生活
- ② 歯・口腔の健康

1. 背景

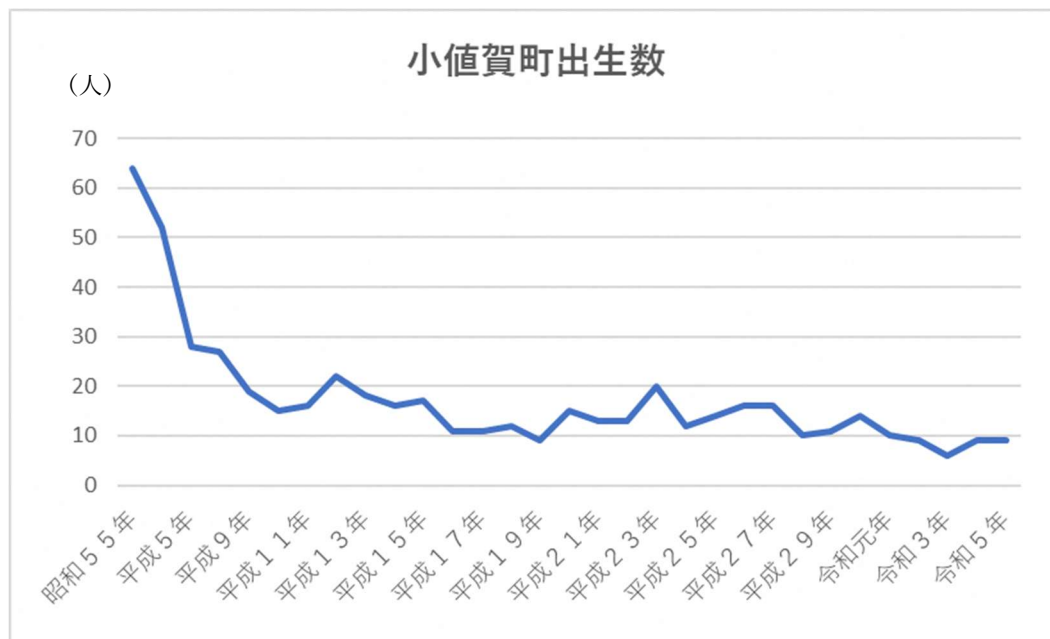
乳幼児は成長のためにバランスの取れた食事がが必要です。果物、野菜、穀物、タンパク質、乳製品など、さまざまな食物群から栄養を摂取することが大切です。

乳幼児期には遊びが重要です。遊びを通じて運動能力や社会的スキルが発達します。積極的な身体活動が健康な体作りに寄与します。

乳幼児は十分な睡眠が必要です。規則的な睡眠パターンが成長と発達に寄与します。

2. 現状

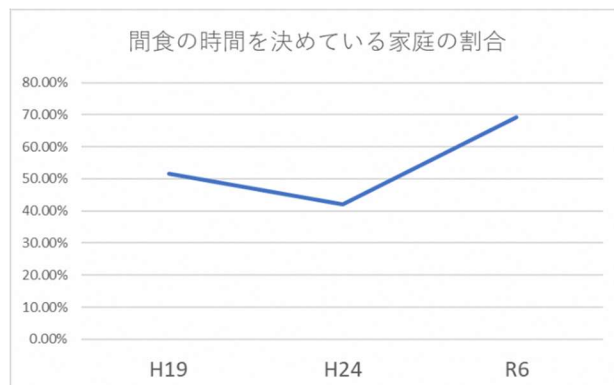
現在、小値賀町の出生数は、10人前後の横ばい状態で推移しています。基本的に高齢化が進んでいるため、少子化傾向は続いています。



（住民基本台帳に基づく人口・人口動態及び世帯数より）

① 栄養・食生活

食生活に関しては、朝食をたべないこどもが徐々に増えています。間食の時間を決めている家庭の割合は、増加しています。質・量ともにきちんとした食事をするこどもの割合も令和元年の目標値を達成しています。



② 歯・口腔の健康

仕上磨きをしている家庭の割合は、徐々に増加してきています。現在、小値賀町に専門職が不足しており、定期健診を受けている家庭の割合は減少傾向にあります。しかし、虫歯に関しては、1歳半児は100%虫歯がありません。また、虫歯のない3歳児の割合も増加しており、乳幼児の虫歯対策は効果が出てきている状況といえます。



第3次計画の指標の評価

健康指標	目標値	現状値	策定時（R1）	評価＊
虫歯のない1歳半児の割合	100%	100%	100%	A
虫歯のない3歳児の割合	90%	94.1%	82.4%	A
質・量ともにきちんとした食事をするこどもの割合	70%	84.8%	なし	A
朝食を食べないこどもの割合	0%	9.1%	なし	D
減塩に心掛けているこどもの割合	60%	21.2%	なし	D

＊評価：A達成 B改善傾向 C変わらず D悪化

3. 目標と指標

(1) バランスの良い食事を摂っている者の増加

分 野	栄養・食生活
指 標	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の者の割合
現状値	84.8% (R6 アンケート結果による)
目標値	90%

(2) 朝食を食べない者の減少

分 野	栄養・食生活
指 標	乳幼児の朝食の欠食率
現状値	9.1% (R6 アンケート結果による)
目標値	0%

(3) 食塩摂取量の減少

分 野	栄養・食生活
指 標	食事の味付けの濃さ
現状値	21.2% (R6 アンケート結果による)
目標値	60%

(4) 歯科健（検）診の受診者の増加

分 野	歯・口腔の健康
指 標	過去1年間に歯科健（検）診を受診した者の割合
現状値	33.3% (R6 アンケート結果による)
目標値	65%

保健行動（町民が取るべき行動）

① 栄養・食生活

- ・朝食を毎日食べよう
- ・いろんな食材をバランスよく（主食主菜副菜）与えよう
- ・減塩に心掛けよう
- ・好き嫌いなく何でも食べよう
- ・おやつの時間を決めよう

② 歯・口腔の健康

- ・歯科検診に行こう
- ・仕上げ磨きをしよう

4. 実施事業

上記目標達成のために、本計画策定期間において実施する事業

	事業名	内容	対象	関係団体
既存事業へ活かす	こども園給食の試食会	こどもが大好きなこども園の給食を保護者が試食し、理想の献立や味付けについて知る機会とする。 ※現在の人員では試食会そのものの実施は難しいため、参観日に給食の様子を見てもらっている。	保護者	こども園 健康管理センター
	ブックスタート事業	出生時、1歳半・3歳児健診に絵本をプレゼントする。 出生時は、地区担当の母子保健推進員が出生プレゼントとして手作りグッズと一緒に絵本を贈る。 ※今後、保護者からの感想や意見の聞き取りを行う。	0歳 1歳半 3歳	健康管理センター
	子育て情報のまとめ冊子の作成・配布	転入者や子育て世帯が子育てに関する情報を得やすくするため、おむつやミルクを販売している商店や地区にある公園、保健福祉サービス施設等の子育てに関する情報を記載した冊子を作成する。現在の配布資料にはミルクの販売店情報や公園についての記載がないため、対象者の意見も反映させながら、内容の更なる充実を図る。	子育て世帯 転入者 観光客	母子保健推進員 子育て広場 住民課（配布時）

語彙説明

○ブックスタート事業

絵本を開く楽しい体験と絵本をセットでプレゼントする活動。赤ちゃんの幸せを願い、行政と市民が連携して行う自治体の事業。

県内では20の市町がこの事業を実施しています。（※絵本贈呈事業のみ実施の市町を含む）

